

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 5年 5月 1日

アンケート期間:令和 5年 3月 1日 ~ 令和 5年 3月 31日

事業所名 S.I.C.KIDS 大府校

保護者等数(児童数) 25 回収数 18 割合 72.0 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	14	2	0	2		
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	14	1	0	3	・数は十分だと思えます。専門性については活動を見れないので分かりません。	様子を充分にお伝えすることで、専門性も高めてまいります。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	17	0	0	1		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	18	0	0	0	・複数人での利用が苦手な児童に対して、小さな部屋を専用で使用させてくれたり配慮がありがたいです。	支援に集中できるような空間づくりを心掛けてまいります。
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	16	1	0	1		
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	15	0	0	3		
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	17	0	0	1		
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	15	2	0	1		
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	3	0	7	8		
保護者へ	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	18	0	0	0		
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	15	1	0	2		
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	7	2	7	2		
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	15	3	0	0	・訓練前に少し体調などを話す程度なので、定期面談などがないと、共通理解は十分ではないかもしれません。	定期的に行うモニタリング等で共通理解を深めて参ります。
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	13	3	1	1		

の 説 明 等	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	3	1	9	5	・この施設では必要に感じていません。	必要に応じて意義のある保護者会を開催できるようにしてまいります。
	16	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	14	0	1	3	・事例がないので分かりません。	相談や申し入れがあった際速やかに対応いたしてまいります。話しやすい環境づくりに努めております。
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	16	1	1	0		
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	5	4	1	8		
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	17	0	0	1		
非 常 時 等 の 対 応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	5	13	2	8		
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	4	3	2	9		
満 足 度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	18	0	0	0	・前日から楽しみにしています。 ・いつも楽しみに通っています。	引き続き楽しみにしていただけるよう努めてまいります。
	23	事業所の支援に満足しているか	18	0	0	0	・いつもありがとうございます。 ・慣れるまで時間がかかりましたが、児童のペースに合わせてくださりありがとうございました。 ・子供の趣味を尊重していただき感謝しています。	それぞれの環境・性格等を含め尊重して支援できるように努めてまいります。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

## 保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果

公表: 令和 5年 5月 1日

アンケート期間: 令和 5年 3月 1日 ~ 令和 5年 3月 31日

事業所名 S.I.C.KIDS 大府校

保護者等数(児童数) 26 回収数 20 割合 76.9 %

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	17	2	0	0	一人、二人であれば十分だと思います。	ご利用様が増えても問題なく支援できるよう努めてまいります。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	19	0	0	0		
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	9	2	1	7		
適切な 支援の 提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画※ i が作成されているか	18	0	0	1		
	5	活動プログラム※ ii が固定化しないよう工夫されているか	19	0	0	0		
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	0	1	13	6		
保護者 への 説明等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	19	0	0	0		
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができていますか	19	0	0	0		
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	16	3	0	0	・相談に乗っていただいております。とても感謝しています。	小さなことでも話しやすい環境づくりに努めてまいります。
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか		1	11	7		
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4	0	0	15	・そのような状況になったことがないため分かりません。	今後も苦情・体制整備など適切に対応できるよう努めてまいります。
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	15	2	0	2		
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	6	2	1	10		今後もインスタグラム更新等で活動概要等発信してまいります。
14	個人情報に十分注意しているか	15	0	0	4			
非常時 等の 対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	10	1	0	8		それぞれのマニュアルを保護者様に周知・説明してまいります。
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	3	0	4	12		訓練は行っております。お子様を参加させての訓練は今後検討させていただきます。
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	18	1	0	0	・毎週とても楽しみにしています。 ・行けば楽しそうに過ごしています。	引き続き楽しみにしていただけるよう努めてまいります。
	18	事業所の支援に満足しているか	19	0	0	0		

※ i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

※ ii 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせる実施されることが想定されている。

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:平成 5年 4月 8日

公表:令和 5年 5月 1日

事業所名 S.I.C.KIDS 大府校

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			
	2 職員の配置数は適切である	○			
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		トイレ前の段差があり必要に応じて対応しております。	今後、必要に応じて対応を検討して参ります。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○			
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	外部評価は行っておりません。	今後、必要に応じて対応を検討して参ります。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○			
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○			
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○			
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	○			
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している		○	個別支援のみのためコーチや他児とのやりとり等を含めて支援計画を作成しております。	集団活動においても対応できるように支援してまいります。
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			
20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○				

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○			
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○	受け入れ実績がございません。		
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	○	受け入れ実績がございません。		
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○	大府市支援センターのおひさまやみのりとは連携をとって情報共有を図っております。		
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○	多機能型で放課後等デイサービスも運営しております。	今後、必要に応じて対応を検討して参ります。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○	大府市支援センターのおひさまやみのりとは連携いたしております。必要に応じて共和病院とも連携しております。		
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○	実績がございません。	保護者様の意向を汲み取りながら検討してまいります。	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○	実績がございません。	招集があれば出席させていただきます。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○	保護者様の意向を汲み取りながら検討して参ります。	保護者様の意向を汲み取りながら検討して参ります。		
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○			
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○	保護者様の意向を汲み取りながら検討して参ります。	保護者様の意向を汲み取りながら検討して参ります。	
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○			
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○	週1回インスタグラム更新いたしております。		
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○	すべて鍵付き書庫に保管しております。		
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わられた事業運営を図っている	○	実績がございません。	必要に応じて対応させていただきます。	

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		マニュアルを作成して保護者様の目に届く場所に保管いたしております。	保護者様に対する周知を徹底してまいります。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		服薬を把握している	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○	食物アレルギーのお子様は通所いたしておりません。	必要に応じて対応させていただきます。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		会議を行い職員間で情報共有をいたしております。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		会議を行い職員間で情報共有をいたしております。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		契約時に保護者様に説明を致しております。 必要に応じて計画書に記載サインを頂いております。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:平成 5年 4月 8日

公表:令和 5年 5月 1日

事業所名 S.I.C.KIDS 大府校

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			
	2 職員の配置数は適切である	○			
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		トイレ前の段差があり必要に応じて対応しております。	今後、必要に応じて対応を検討して参ります。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	外部評価は行っておりません。	今後、必要に応じて対応を検討して参ります。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	○			
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		お子様に合わせたトレーニングを行っております。	必要に応じて課題を検討、変更追加してまいります。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している		○	個別支援のみのためコーチや他児とのやりとり等を含めて支援計画を作成しております。	集団活動においても対応できるように支援してまいります。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○				

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○	送迎は行っていません。情報共有・行事予定等は保護者様から連絡を頂いております。	学校のwebサイトも含めて情報確保や保護者様からの情報共有に努めてまいります。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○	実績がございません。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○	大府市支援センターおひさまやみのりとは連携を行っております。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○	実績がございません。	今後、必要に応じて対応を検討して参ります。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○	大府市支援センターのおひさまやみのりとは連携いたしております。必要に応じ共和病院とも連携しております。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○	実績がございません。	保護者様の意向を汲み取りながら検討して参ります。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○	実績がございません。	招集があれば出席させていただきます。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○	保護者様の意向を汲み取りながら検討して参ります。	保護者様の意向を汲み取りながら検討して参ります。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○	保護者様の意向を汲み取りながら検討して参ります。	保護者様の意向を汲み取りながら検討して参ります。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○	週1回インスタグラム更新いたしております。	
	35	個人情報に十分注意している	○	すべて鍵付き書庫に保管しております。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○	実績がございません。	必要に応じて対応させていただきます。



非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		マニュアルを作成して保護者様の目に届く場所に保管いたしております。	保護者様に対する周知を徹底してまいります。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		契約時に保護者様に説明を致しております。必要に応じて計画書に記載サインを頂いております。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○	食物アレルギーのお子様は通所いたしておりません。	必要に応じて対応させていただきます。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		会議を行い職員間で情報共有をいたしております。	